

介護求人ナビ ケアマネ試験 直前対策講座

講師：飯塚慶子

keikoizuka.com

講義の内容、資料等の著作権は、講師に帰属します（試験問題やイラスト等を除く）。
事前の承認なく、複製・頒布、録音・配信等の行為をすることはかたくお断りいたします。

定期巡回・随時対応型訪問介護看護

定期巡回・随時対応型訪問介護看護の概要

定義

- 「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」とは、
- ・定期巡回訪問、または、随時通報を受け利用者（要介護者）の居宅を介護福祉士等が訪問し、入浴・排せつ・食事等の介護、調理・洗濯・掃除等の家事等を行うとともに、看護師等による療養上の世話や診療の補助を行うもの（訪問看護を一体的に行う場合）
- または
- ・定期巡回訪問、または、随時通報を受け訪問看護事業所と連携しつつ、利用者（要介護者）の居宅を介護福祉士等が訪問し、入浴・排せつ・食事等の介護、調理・洗濯・掃除等の家事等を行うもの（他の訪問看護事業所と連携し訪問看護を行う場合）
- のうち、いずれかをいう。

経緯

- 訪問介護などの在宅サービスが増加しているものの、**重度者を始めとした要介護高齢者の在宅生活を24時間支える仕組みが不足**していることに加え、医療ニーズが高い高齢者に対して**医療と介護との連携が不足**しているとの問題がある。
- このため、①日中・夜間を通じて、②訪問介護と訪問看護の両方を提供し、③定期巡回と随時の対応を行う「**定期巡回・随時対応型訪問介護看護**」を創設（平成24年4月）。

<定期巡回・随時対応サービスのイメージ>



<サービス提供の例>

	0時	2時	4時	6時	8時	10時	12時	14時	16時	18時	20時	22時
月												
火												
水												
木												
金												
土												
日												

Legend:

- 定期巡回 (Blue bar)
- 随時訪問 (Orange bar)
- 訪問看護 (Green bar)

Service Examples:

- 水分補給 更衣介助 (Water supply, Dressing assistance) - Regular巡回 (Blue bar) at 6:00-8:00 on Wednesday.
- 通所介護 (Outpatient care) - Regular巡回 (Blue bar) at 10:00-12:00 on Tuesday and Thursday.
- 排せつ介助 食事介助 (Defecation assistance, Meal assistance) - Regular巡回 (Blue bar) at 18:00-20:00 on Monday and Friday.
- 排せつ介助 食事介助 体位交換 (Defecation assistance, Meal assistance, Position change) - Regular巡回 (Blue bar) at 10:00-12:00 on Saturday.
- 体位変換 水分補給 (Position change, Water supply) - 随時訪問 (Orange bar) at 14:00-16:00 on Saturday.

- ・日中・夜間を通じてサービスを受けることが可能
- ・訪問介護と訪問看護を一体的に受けることが可能
- ・定期的な訪問だけではなく、**必要なときに随時サービス**を受けることが可能

資料：『定期巡回・随時対応型訪問介護看護』厚生労働省

定期巡回・随時対応型訪問介護看護の基準

必要となる人員・設備等

職種		資格等	必要な員数等
訪問介護員等	定期巡回サービスを行う 訪問介護員等	介護福祉士 実務者研修修了者 初任者研修修了者	<ul style="list-style-type: none"> 交通事情、訪問頻度等を勘案し適切に定期巡回サービスを提供するために必要な数以上 オペレーターと兼務可能。 常時、専ら随時訪問サービスの提供に当たる訪問介護員が1以上確保されるための必要数（利用者の処遇に支障がない場合、定期巡回サービスに従事することができる。） オペレーターと兼務可能。
	随時訪問サービスを行う 訪問介護員等	旧介護職員基礎研修 旧訪問介護員1級 旧訪問介護員2級	
看護職員 (訪問看護サービスを行う職員)		保健師、看護師、准看護師 PT、OT、ST	<ul style="list-style-type: none"> 保健師、看護師、准看護師あわせて2.5以上、うち1名以上は常勤の保健師又は看護師（併設訪問看護事業所と合算可能） オペレーターと兼務可能 常時オンコール体制を確保
オペレーター (随時対応サービスを行う職員)		看護師、介護福祉士等(※) のうち、常勤の者1人以上 + 1年以上訪問介護のサービス 提供責任者として従事した者	<ul style="list-style-type: none"> サービス提供時間帯を通じて1以上確保されるために必要数 1名以上は常勤の看護師、介護福祉士等(※) 利用者の処遇に支障がない範囲で、当該事業所の他職種及び同一敷地内の他の事業所・施設等（特養・老健等の職員、訪問介護のサービス提供責任者、夜間対応型訪問介護のオペレーター）との兼務可能
計画作成責任者		看護師、介護福祉士等(※) のうち、1人以上	<ul style="list-style-type: none"> 定期巡回・随時対応型訪問介護看護従業者であって看護師、介護福祉士等(※)のうち1名以上
管理者			<ul style="list-style-type: none"> 常勤・専従の者（当該事業所の職務や併設事業所の管理者等との兼務を認める。）

(※)・・・看護師、介護福祉士、医師、保健師、准看護師、社会福祉士、介護支援専門員

(注) …介護・看護一体型にのみ配置が必要となる職種(介護・看護連携型の場合は連携先の訪問看護事業所に配置される)

※1 訪問介護員等については、利用者の処遇に支障がない範囲で、他の施設等(加配されている者に限る)との兼務可能

※2 「オペレーションセンター」の設置は設備基準としては求めず、地域を巡回しながら適切に随時のコールに対応する形態も可能

※3 利用者がコールを行う、オペレーターがコールを受ける際の機器は、一般に流通している通信機器等の活用が可能

※4 オペレーターの資格について、旧訪問介護員2級及び初任者研修修了者は3年以上訪問介護のサービス提供責任者として従事した者

資料…『定期巡回・随時対応型訪問介護看護 厚生労働省』

令和4年度 問題44

**指定定期巡回・随時対応型訪問介護看護について正しいものはどれか。
3つ選べ。**

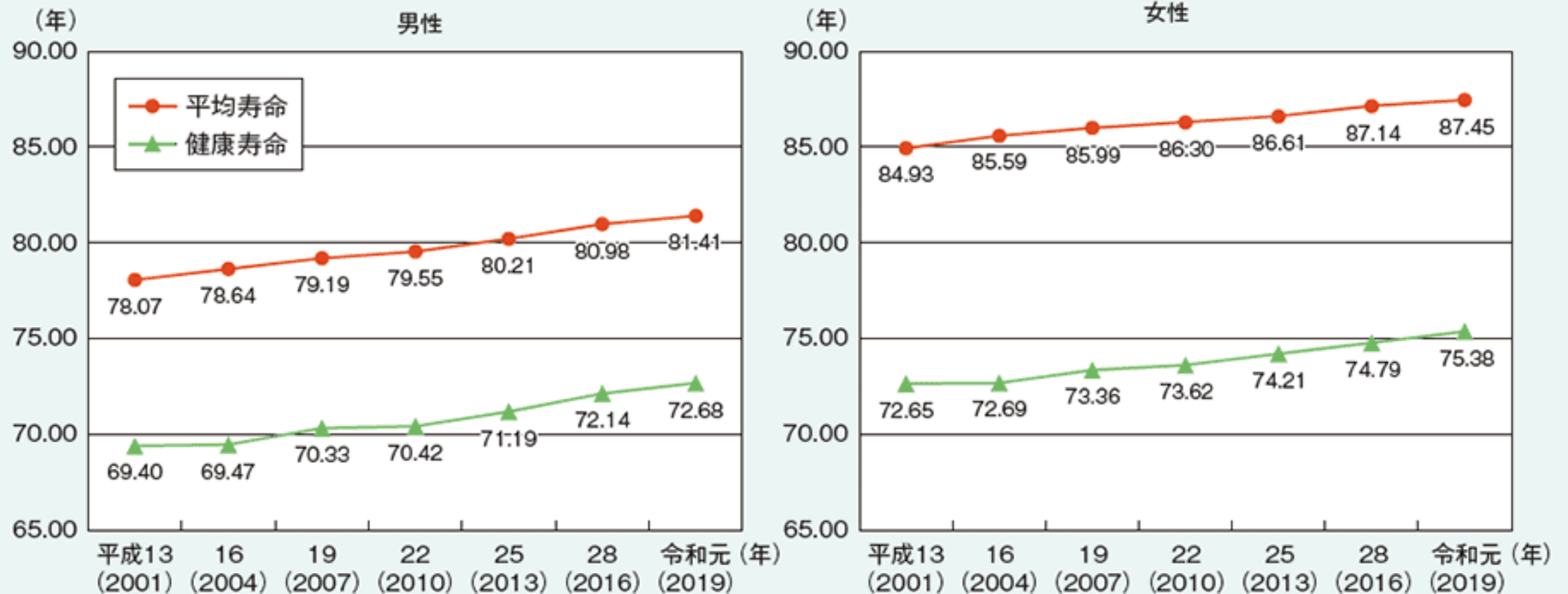
- 1 利用者が尊厳を保持し,可能な限りその居宅において,その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう援助を行う。
- 2 要支援者も利用できる。
- 3 利用者の心身の状況にかかわらず,毎日,訪問しなければならない。
- 4 随時対応サービスについては,利用者のみならずその家族等からの在宅介護における相談等にも適切に対応する。
- 5 介護・医療連携推進会議は,おおむね6月に1回以上,開催しなければならない。

Answer

健康日本21

健康寿命・平均寿命

図1-2-2-2 健康寿命と平均寿命の推移



資料：平均寿命：平成13・16・19・25・28年・令和元年は、厚生労働省「簡易生命表」、平成22年は「完全生命表」
健康寿命：厚生労働省「第16回健康日本21（第二次）推進専門委員会資料」

資料：『令和4年版高齢者白書』厚生労働省

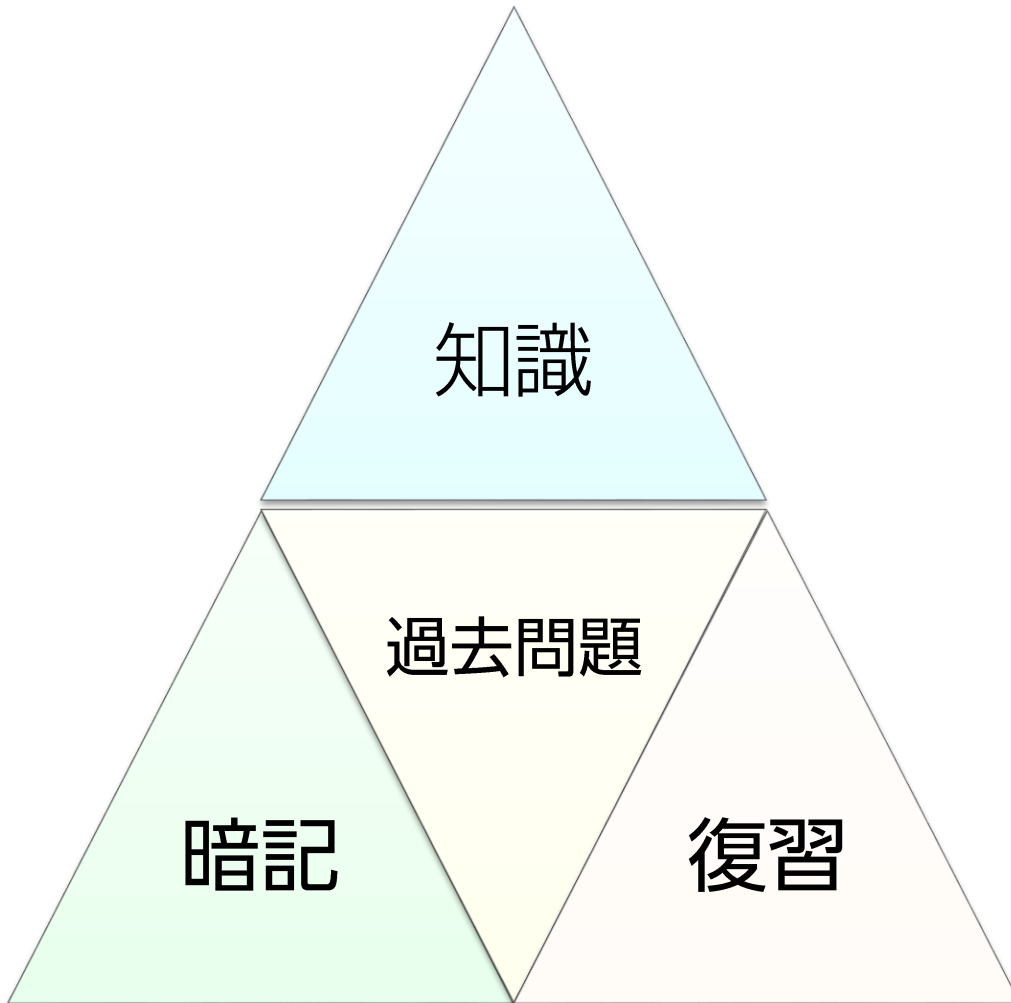
令和4年度 問題39

次の記述のうち適切なものはどれか。3つ選べ。

- 1 健康日本21（第二次）では、健康寿命を延ばすことを目指している。
- 2 就労、ボランティアなどの社会参加は、フレイル予防に役立たない。
- 3 パーキンソン病の場合、転倒しやすいため、運動療法は禁忌である。
- 4 膝関節症による痛みや腫脹を抑えるには、定期的な運動が効果的である。
- 5 高齢者においては、無症状であっても骨粗鬆症の検査を受けることが推奨される。

Answer

明日からの合格勉強法



- ① 過去問の正解
→ 自分の試験で1点取る
- ② 「わかった」、「解けた」
→ 「覚えた」をゴール
- ③ 覚える内容
→ 「覚え方」 「目印」と一緒に
- ④ 勉強時間
→ 30分に1回、定着を確認
- ⑤ 出るトコロ
→ 「出るカタチ」をセット学習